

みんなの 広場

皆さんからのお便りをお待ちしています

〒444-0192 菱池字元林1-1 幸田町役場企画政策課広報広聴G
E-mail:kikakujoho@town.kota.lg.jp ☎62-1111 (内線334)
FAX63-5139

今月の表紙

今月の表紙は、竹水の音を聞く大草保育園の園児です。(昨年度撮影) 竹水とは、4月～5月の竹の成長期に地下茎から吸い上げる水の事で、節の中に溜まります。年に約20日間しか採れない貴重な水と言われ、竹によつてろ過された水は体への浸透性が強く、ほんのりと甘みがあるのが特徴です。



うま 旨みの会



私たちは、町で開催された「平成24年度できる男の健康料理塾」の修了生から発足した、自分、家族、地域のために健康づくり活動を目指した男性19人の自主活動グループ「旨みの会」です。

会員は平均年齢64歳のグループであり、それぞれの立場で、人生の喜怒哀楽や甘酸「塩」苦を十分経験してきました。これからはこの経験を「旨み」に変え、会員相互の絆の相乗効果により、さらに人生の「旨み」を高めていきたいという思いから、会の名称が決まりました。

今後、健康づくり活動として緑豊かな自然に恵まれた幸田町を散策できる「こうたさわやかウォーキングマップ」コースのウォーキングやグラウンドゴルフなど、体を動かすことを仲間や地域へ声掛けして共に体感したり、調理実習で健康づくりの勉強会を行うことやそのほかに地域に貢献できる活動も考えていく予定です。

今後、「輪」と「和」を広げた健康づくり活動を目指していきたいと思ひます。

代表：松尾 勝則

サークル 紹介

この指
とーまれ
136

みんなの作品展!

平成24年度人権を理解する
作品コンクールからのセレクトです。



浦山 紀菜 さん



浦山 美妃 さん

皆さんの作品を募集します。応募方法はがき裏書きもしくは作品を写真に撮りタイトルと作者名(ペンネーム可)をご記入の上、企画政策課広報広聴Gまでお送りください。(デジカメ写真の場合はメールで)

今月の記念日

6月29日は「佃煮の日」

全国には、それぞれ郷土色豊かな自慢の料理や名産品があります。佃煮もその一つです。

佃煮発祥の地の守り神として東京・佃島の住吉神社が旧暦の6月29日に建立されたことや、「じい」の語呂合わせから、「じくた煮の日」が2004年に制定されました。

佃煮は、小魚、貝類、野菜、海藻などを、しょう油、水飴、砂糖を中心とした調味料で煮つめた日本古来の保存食品です。生ものは東京ですが、全国各地で、地元の水産物や農産物、畜産物を原料に、それぞれ郷土色豊かな佃煮が作られています。

佃煮は、昆布だけでなく、アサリやノリ、小魚など種類も豊富です。佃煮は保存性が高く、よく加熱されたものが多いので、安心して食べられます。また、贈答品としても人気がありますが、すでに江戸時代から、武士たちが江戸みやげとして持ち帰っていたそうです。

長い歴史を通して、日本の食生活に大切な役割を果たしてきた佃煮。グルメや飽食といわれる時代に、あらためて、佃煮の良さが見直されています。

